California Assembly Bill No. 1305 に関する情報開示

2050 年カーボンネットゼロに向けた GHG 排出量削減目標

クラレグループは企業ステートメント「私たちの使命」に基づき「サステナビリティ長期ビジョン」を掲げています。その実現に向け、クラレグループはサステナビリティを重要な経営戦略の一つと捉え、当社グループと社会が持続的に発展するための優先すべき重要課題（マテリアリティ）を経営レベルで選定しています。その一つとして「資源の有効利用と環境負荷の削減」を定め、2050 年カーボンネットゼロ(Scope1、2)の実現を目指しています。

クラレグループは「サステナビリティ中期計画（2022-2026 年度）」において、温室効果ガス（GHG）排出量削減について以下の目標を定めています。これらの削減目標は、SBTi (Science Based Targets initiative) により科学的根拠に基づく目標として認定されています。

- クラレグループからの温室効果ガス(GHG)排出量(Scope1、2)について、2035 年までに 2021 年比で 63%削減する。
- サプライチェーンからの GHG 排出量(Scope3)については、主要排出源である「購入した製品・サービス（カテゴリー1）」由来の排出量を 2035 年までに 2021 年比で 37.5%削減する

クラレグループは、GHGプロトコルに基づき策定した算定ルールに則り GHG 排出量を集計・算定しており、2025 年度の環境パフォーマンス指標について KPMG あずさサステナビリティ株式会社より限定的保証を取得しています。

クラレグループは Scope1、2 排出量削減目標の達成に向け 2030 年までに 800 億円の投資を計画し、以下のような削減施策を進めています。

- 省エネ設備の導入
- 電力の再エネ化
- CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)
- 国内外の生産拠点におけるクリーンエネルギー（グリーン水素、グリーンアンモニア等）の導入

また、Scope3 カテゴリー1 排出量の削減にも以下のような具体的な施策を進めています。

- バイオマス原料やリサイクル原料の活用
- 再生炭ビジネスの拡大
- サプライヤーとの協働による脱炭素化

クラレグループは GHG 排出量削減を含めた気候変動対策に向けた施策を着実に

実行するとともに、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に基づいた開示を行っています。上記の GHG 排出量削減目標とその進捗および算定結果については、クラレグループのウェブサイトにおいて開示しております。

- サステナビリティ中期計画 Planet/GHG 排出削減
- 気候変動対策/GHG 排出量と削減の取り組み
- 気候変動対策/TCFD 提言への対応
- 環境データ
- クラレレポート(統合報告書)/ サステナビリティウェブサイト

クラレグループは California Assembly Bill No. 1305 Section 44475 と 44475.1 の対象となるボランタリーカーボンオフセットの販売、マーケティング、および使用を行っておりません。そのため、ボランタリーカーボンオフセットの詳細に関する開示要件は適用されません。

適用範囲

上記の目標および開示は、カリフォルニア州での事業を含むグローバルな事業に適用されます。クラレグループは引き続きカリフォルニア州の規制を把握し、遵守していきます。

免責事項

本開示には、クラレグループの期待、見通し、目標、計画に関する将来予想に関する記述が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、クラレグループが現在入手している情報に基づくものであり、本開示において言及されている報告書等が作成された時点における見通しに基づいています。これらの将来予想に関する記述には、主観的な仮定が含まれており、それが誤りであることが判明する可能性があります。万一、本開示における前提が事実でないことが判明した場合には、本開示における将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。クラレグループは、法令が要求する範囲内で本開示を少なくとも年 1 回見直し、更新することで継続的な法令遵守と透明性の確保に努めてまいります。

更新:2026年11月